

平成23年度 第3回 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 平成24年2月6日(月) 午後1時から午後2時30分まで

場 所 東金市役所 3階 第1委員会室

出席した委員

石渡 徹男	東金市議会議員
井上 肇	千葉県健康福祉部保健医療担当部長
氏原 強	千葉県病院局佐原病院事務局長
近藤 俊之	(社)全国社会保険協会連合会顧問
鈴木 征四郎	九十九里町議会議員
佐野 勇一	(株)ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部長
田畑 陽一郎	山武郡市医師会会長
樋口 幸一	公認会計士
松永 敏子	(社)千葉県看護協会会長
水田 宗子	学校法人城西大学理事長

(敬称略、五十音順)

欠席した委員

宮崎 勝	千葉大学医学部附属病院長
------	--------------

出席した関係者等

志賀 直温	東金市長
川島 伸也	九十九里町長
平澤 博之	理事長
事務局	東金市企画政策部医療センター推進課 鶴岡参事、加藤主査補 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 石原看護部長、原田事務部長、高宮参事、鶴岡課長、太田課長、 古川主査、戸田主査補、増田主査補、大塚主査補、行木主任主事

会議概要

近藤委員長 挨拶

志賀東金市長 挨拶

平澤理事長 挨拶

議事

- (1) 医療センター建築工事の実施設計及び入札方法について(報告)
- (2) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期目標の変更について
- (3) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期計画の変更について
- (4) 評価委員会正副委員長の改選について

その他

開会（午後1時）

司会 本日は、大変お忙しいなかご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから「平成23年度第3回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会」を開催いたします。審議に先立ちまして、宮崎委員より欠席のご連絡をいただいております。そのほかの委員におかれましては、出席していただいておりますことから、『地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会共同設置規約』第7条の規定に基づき、過半数の委員の出席により評価委員会が成立していることをご報告申し上げます。報道機関の写真撮影がございましたら、委員長のご判断をいただきたいと存じます。これより次第に沿って会議を進めてまいります。

まずはじめに、近藤委員長よりご挨拶をお願いします。

委員長 本日は平成23年度第3回の評価委員会でございます。ちょうど2年前から評価委員会が開かれることになりまして、私共委員の現在の任期では今日が最後の評価委員会になると思います。皆様方には2年間、中期目標、中期計画のご承認等、精力的にご審議いただきましたことを感謝申し上げます。滞りなく予定どおり行われたことに厚くお礼申し上げます。どうぞ、本日の議案につきましても活発なご意見をいただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

司会 続きまして、東金市長よりご挨拶を申し上げます。

東金市長 本日は、大変お忙しい中をまたお寒い中を評価委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。医療センター事業も計画どおり進んでいる状況でございます。これも理事長はじめ評価委員の皆様方のご支援によるものと感謝申し上げます。また、東金市では九十九里町からの一部財政負担も含めて、医療センターの看護師確保のための平成24年度から城西国際大学看護学部の学生向けの奨学金制度を創設いたしました。現在、奨学金の受付をしておりますが15人の枠を超える応募がある状況でございます。次に評価委員さんの任期につきましては、2月25日に満了ということになります。次期委員の委嘱をお願い申し上げたところでございまして、幸い全委員が再任をご了解いただけたということで、改めてお礼申し上げながら医療センター開院までご指導いただけることを心強く思っています。本日の議事につきましては、医療センター建築工事の実施設計及び入札方法についての報告、東金九十九里地域医療センターの病院名称の変更に伴う中期目標・中期計画の変更について、また、次期評価委員会の正副委員長の改選でございます。病院名称の変更については地方独立行政法人より、病院名を「東金九十九里地域医療センター」から「東千葉メディカルセンター」に変更したい旨の東金市と九十九里町に対する申し入れがあったものでございます。私どもと九十九里町で協議いたしました結果、地方独立行政法人の変更理由でございます広域的であり簡潔な名称ということが、地方独立行政法人の活動の支援になると判断いたしまして賛同するものでございます。今後の手続きといたしましては、定款の変更を3月に予定しております。その後、中期目標、中期計画の変更が必要となりますので、評価委員会の皆様のご意見をお聴きすることになりますので、今後ともよろしくお願いいたしまして、ごあいさついたします。

司会 次に、平澤理事長よりご挨拶をお願いいたします。

理事長 地方独立行政法人理事長として、一言ご挨拶申し上げます。まずはお忙しいところ評価委員会にご参加いただき大変ありがとうございます。今、市長もご報告申し上げたとおり、全体としてこの医療センター計画は順調に進捗しているというふうに思っております。いくつかの皆さんが懸案事項としてあげてくださっていることについて、少しご説明をして挨拶に代えたいと思っております。まず、医師の確保に関しましては、平成24年度に着任してくれる私以外の医師を1人ということを目から

決めておりました、それを千葉大の教授会で選任してくれました。外科の方から現役の准教授が立候補してくれまして、皆さんの圧倒的多数の賛同を得て選出されて、平成24年から着任する予定でございまして。そういうことで、医師の確保に関しては非常にいい滑り出しをしたというふうに思っております。看護師の確保に関しましても、これも市長がおっしゃってくださいましたが、来年度、この4月から採用してトレーニングしてくださるという方達は予定以上に応募してございまして、全員、なんらかの形で千葉大学医学部附属病院にてこの4月からトレーニングをすることになっております。それから、城西国際大学の看護学部が開校いたしまして、そのこの学生に対する奨学金を東金市、九十九里町で手当てしてございまして、その説明会が先日ございまして、多くの採用をしていただいた学生さんのおいでになって、現在、申込を締め切ったところですが、定員をオーバーするぐらいの申込があつてうれしい悲鳴をあげているところでございまして。それから、建設に関しましては、基本設計が終わり、実施設計を今つめているところでございまして、これから、公告、入札をして、予定通り来年度の4月から工事着工の運びとなっております。最後に地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターが運営する病院医療施設の名前だけをいろいろな理由から変更していただきたいということを設立団体である東金市と九十九里町にお願いしまして、今、手続きをとっていただいているところでございまして。名前に関しまして、いろいろな思い入れがあるということは重々承知しておりますが、それでもなお、いろいろな理由で我々としては変えていただくと大変ありがたいということで、設立団体に要望を出しているところでございまして。全体といたしましては、おかげをもちまして、順調に進捗しているというふうに思いますが、また公正な目で評価をして頂いて、直すべきところを指摘していただければ、それはそれで我々も真摯に受け止めて、これからも更になんか頑張りたいと思っておりますのでどうかよろしくお願いたします。以上でございまして。

司会 それでは先ほど市長から評価委員の任期満了により次期評価委員をお願いしたい旨のお話がありました。つきましては、テーブルの上に委嘱状を配付してございましてよろしくお願いたします。ここで、九十九里町議会議員の鈴木委員におかれましては、前委員の大矢委員と変わられておりますので、ご紹介をいたします。

委員 ただいまご紹介をいただきました九十九里町議会議員の鈴木征四郎でございまして。よろしくお願いたします。

司会 これより議事に入りますが、議事の進行につきましては、評価委員会共同設置規約第7条第1項の規定に基づきまして、近藤委員長さんにお願いたします。

委員長 それでは、予定された会議次第に沿って議事を進めて参りたいと思っております。まずは、第1番目の建築工事の実施設計及び入札方法についてご報告がございまして。よろしくお願いたします。

事務局（独法）プロジェクターにより「医療センター建築工事の実施設計及び入札方法について」報告

委員長 ありがとうございます。ご質問ございますでしょうか。病院ができあがってみて実際に看護師さんまた医師の方が使ってみないと分からないこともございましてよろしいでしょうか。それでは議事の1についてはこれにて終了いたします。引き続き議事を進めたいと思っております。議事の2番目が地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期目標の変更、3番目が同様に中期計画の変更ということでございまして、これについては、この後のご説明にあると思っておりますが、病院名の変更に関するところでございまして一括して説明をしていただき、また、質疑をいただきたいと思っております。それでは、議事2番と3番につきまして事務局から説明をお願いたします。

事務局（市）地方独立行政法人から病院名を「東金九十九里地域医療センター」から「東千葉メディカ

ルセンター」に変更したいと東金市及び九十九里町に要望が出され、東金市と九十九里町ではその要望を受け入れ、病院名を規定する定款の変更を3月に行う予定で進めております。また、定款変更認可後に、定款の病院名と医療センターの中期目標と中期計画に記載されている病院名を整合させるためだけのものがございます。特に審議を要するものではないことから、評価委員会としての意見を変更可としていただきたく、本日の機会を利用いたしまして、事前にご説明し、ご了解を得ていただきたいと考えるものがございます。定款が変更されましたら、委員の皆様にご連絡をしたいと考えるところでございます。

別紙1・資料1「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期目標の変更について」、別紙2・資料2「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの中期計画の変更について」(議事2・3併せて)説明

委員長 ありがとうございます。今日、皆さんにご了解いただく趣旨でございますが、独立行政法人の名前は変更がないということですが、独立行政法人が設置する病院名を東金九十九里地域医療センターから東千葉メディカルセンターという名前に変えるということでございます。これに伴いまして中期目標及び中期計画にあるその箇所の名前の変更ということで、実質的な目標とか、実質的な計画に変更はないということでございます。そこで、今、事務局からご説明がありましたとおり、独立行政法人からいろいろな意味で名称変更を申し出られたということでございますので、もし、可能であれば、ひとことお願いいたします。また、設置主体であります、東金市及び九十九里町で名称変更について、何か付け加えることがありましたら、市長及び町長からお願いいたします。まず、平澤理事長から病院名称の変更をご希望になったということを追加でご説明お願いいたします。

理事長 ありがとうございます。理事長の平澤でございますが、先般、設立団体であります、東金市と九十九里町に名称の変更をお願いしたところでございますが、その名称の変更を要望した理由を説明したいと思っております。いくつかあるのですが、ひとつはこの医療センターが開院したあかつきには、この医療圏で唯一の救急救命センターを併設した急性期医療を担う中核病院となる訳でございます。そうなりますと、もちろん、東金市と九十九里町が設立した団体ではございますが、周りの市町村からも医療センターに対して、場合によってはいろいろな支援を頂くというような場面も出てくると思っております。そういう中で東金と九十九里という名前がついた医療センターよりは、もう少し広範囲なこの地域を包含するような名前の方が周囲の市町村からも協力していただき易いのではないかとということの一つを考えました。それから2つ目は、実際に看護部長を伴って看護師のリクルートに行きました。北海道にも行きましたし、九州にも行ったのですが、東金九十九里地域医療センターということでまだ病院は立ち上がっておりませんし、いろいろ説明してもどこにあるんですかという質問をよくいただきました。そういうこともありまして、もう少し、全国にもよく知れた、もちろん、九十九里町というのは全国区であるということも理解しておりますが、もう少し、全国のどこにあるのかよくわかるような名前がいいのではないかとというような印象を強く持ちました。主には2つなのですが、それで名前を変えらるるとしてこの地域を包含する名前としてどのようなものがあるかといろいろ考えました。外房というものもございませうし、上総というものもございませうし、いろいろ考えたのですが、どうもこの地域全体を包含するような名前がなかなかないということで、千葉県の方の方に位置するということで、東千葉という名前にしました。そしてもう一つは従来医療センターだったものをメディカルセンターにしてはどうかということも同時に考えました。というのも千葉市に従来からあります大きな病院がそれぞれ千葉中央メディカルセンター、千葉メディカルセンターという

ふうにメディカルセンターを下につけた名称に代えてございます。これからは片仮名で名前を名乗ってもあまり抵抗感のない世代がどんどん育ってきますし、そういうことでメディカルセンターのほうはかえって受け入れてもらいやすいのではと考えまして、我々独立行政法人といたしましては「東金九十九里地域医療センター」から「東千葉メディカルセンター」に変えていただきたいというふうに要望するに至ったところでございます。

委員長 それでは設置主体の東金市長お願いいたします。

東金市長 私共は今回独法からの変更依頼に基づいて議会にかけることとなります。当初、東金九十九里地域医療センターという名称を一番最初に決めた段階があったわけですが、その段階で将来的にどこかのレベルで別の名称に替えていったらどうかということをおある程度前提としてきていたのが実態であったかと思えます。今回は、私共のすべきことといたしますか、しなきゃいけないことは、やはり、地方独立行政法人が十分に機能をしていただく、動きやすくなっていただく、これが一番私共がしなければいけない現在の役割であるというふうに思っております、それは、病院建設或いはその後の平成26年4月に向けての医業の取組準備も含めて、そこへもっていくための段取りだという認識の中で東千葉メディカルセンターということについては、先ほど申し上げましたが、異存はないというふうに思っております。これは千葉県東側、或いは千葉市の東側という位置の中で場所が特定できるというのがありますし、字数はともかくとしても、単語の数からするとかなり短くなるというのがある、そういう、呼びやすい、使いやすい名称でいいのかなと思っております。それで、実は九十九里地域という一帯の地域の名称がありまして、私自身もそれについては全く否定するものではないのですが、以前市町村合併の折にそういった名称が大きな争点になりまして、九十九里市ということで、当時は私自身がそれで行こうということで決めましたけれども、やはり住民の方々からの意見とするとそれはだめだという結論になったということがありました。これは市町村合併の流れなのでございますけれども、そういうことありまして、今回はどちらの地名も使わないという形の中で東千葉、千葉の東側ということで病院名として独法のほうからの意見を伺いながら議会に諮るという考えでおります。

委員長 ありがとうございます。九十九里町長お願いいたします。

九十九里町長 できることであれば九十九里メディカルセンターが一番いいと思っておりますけれども、やはり、議会の同意がえられないということ、そして一番大事なことは、シミュレーション的にはなんとかやっつけていけるシミュレーションを描いて頂いておりますけれども、やはり最終的には地域のほうからそれなりの負担金を頂かなければいけない。そういう時に主に長生郡市さんのほうからいただく時に抵抗のない名称じゃないといけないのではないかと思っております。東金であってもいけないし、九十九里であってもいけない。東金九十九里ですと勝手にそちらだけでやればというような結果が生まれてくると思われまます。そのためにそちらの方からも負担金をいただきやすい名前ということで私どもも理解しながらこれから議会からの同意を得ながら進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございます。定款でございますからそれぞれの設置市・町の議会で審議されるかと思いますが、評価委員の皆様方に今のご意見を聞いて、何かコメントなり今後の対応について参考になることがありましたらお願いします。

委員 一言述べさせていただきます。先月30日の九十九里町議会の全員協議会が開かれ、その席において何人かの議員より九十九里の名前を残してもらいたいという意見がございました。概ね東千葉メ

ディカルセンターの名称で了解されていると私は考えておりますけれどもそういうことでございますのでよろしくお願いいたします。

委員 東金の場合は市長が今、お話になったように仮称で東金九十九里地域医療センターで進みますよということであったことは、それぞれ議員は認識をしているところでございます。やはり同じように全協を開いてこの説明会はやられた訳ですけれども、名称の問題、これは私共のほうでは、合併という問題の中で一つ大きな失敗と言うとおかしいのですけれども、ひとつ大きな経過を踏んでおります。その中でやはり出てくる問題は、東金市これは非常に愛着を議員そのものも持っておるというのもあると思いますけれども、なぜまずいのだというのも出てきておりましたし、いろいろご意見はありますけれども基本的には名称については、全体的に通じる名前ということの解釈で進むべきであろうというのもございます。ただ、いずれにしても根強いいわゆる東金九十九里が負担金を出しているだろうと、その中でなぜこれを捨てるのかという意味をもう少し良く説明をされたいというような要望はございます。経過的にはそのような形で進んでおります。

委員 病院の場合の設置形態というものについては、また特殊なものがあるかと思っておりますけれども、地方独立行政法人の名前が東金九十九里地域医療センターでその法人が事業をする病院が東千葉メディカルセンターということになりますので、設置母体と経営する病院がはっきりして、かえってよろしいのではないかと私は思います。また、学校法人とは違うとは思いますが、この東金九十九里地域医療センターがもう一つ病院を持つことも可能になる訳です、違和感は感じませんし、むしろ発展していく上で良いと思います。

委員長 ここはかつては山武医療センターという名前からいろいろ変わってきて、独法の名前になって、理事長がおっしゃるように外から人を採用する場合は、たしかに千葉と言うほうがその部分はわかりやすいと思いますがよろしいでしょうか。

委員 最初に九十九里の人たち、東金の人たちが良いというのであればとても良い名前だと思います。例えば、私共の医師会は山武郡市医師会です。それを言い換えて山武メディカルセンターとしたときに、隣に成東病院のさんむ医療センターがございますので誤解を招き易い。一方で9つの医療圏がございます。その中で千葉県の東ということで場所が明確に分かります。従って3次医療圏を考えても非常に良いと思います。また、委員がおっしゃったように次の発展にもつながります。そういう意味でもぜひともこの名前で良いと思います。

委員長 ほかにご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。この後の議題とも関係するのですが、すでに定款が変更されていた場合には、ここでご了解を頂くということなんですが、形式的にいきますと市議会、町議会で正式に定款が変更された場合につきまして、皆さんのご了解を得たものという形にしたいと思います。よろしいでしょうか。それに関係することですが、議事の4について事務局のほうから説明をお願いしたいと思います。

事務局 それでは議事4の評価委員会の正副委員長の改選についてご説明申し上げます。定款で定めまます病院名が変更された場合、中期目標・中期計画の変更について設立団体から意見照会があります。先ほどもご説明したとおり、病院名が変更された場合、中期目標・中期計画中の病院名を定款に併せるだけの変更は必要になるというものでございます。その回答を委員長に一任していただき、手続きをスムーズに行えるよう進めたいと考えるものでございます。なお、現委員の任期は終わりますが、全員再任頂けること、また、再度お集まりいただくような案件ではないことから、本日、次期委員長、副委員長を決めていただき、スムーズに手続きができるようにしていただきたいと考えているもので

ございます。

委員長 繰り返しになりますが、本来ですと時期が今の皆様方、私共の任期が2月25日でございますので、定款が既に変更されていれば、承認ですぐに変更できるのですが、定款は3月議会での変更となります。そうすると中期目標・中期計画の変更については、次の新しい委員の任期でご了解を得ることになります。先ほど最初にご説明ありましたように、今日ご出席の方々が全て再任をされるということですので、改めて定款変更後に委員会を開くということではなくて、今日皆様のご了解を得られたということで、委員会としては中期目標・中期計画の変更に対する意見照会があった時に了解の旨、回答するということになります。やや異例ですけれども、皆様方がそのまま再任をされるということでございますので、委員長、副委員長を少し早目ですが、お決めいただきたいというのが事務局からの要望でございます。現段階で私が委員長ですので議事をさせていただいておりますが、次期の正副委員長についてご意見をいただければということでございます。

委員 皆さんやはり再任されていますので、引き続き近藤先生に委員長をお願いしたいのと、それから田畑先生に副委員長をお願いするのが一番いいのではないかとご提案をいたします。

委員長 委員長に私近藤と副委員長に田畑先生という発言がございましたけれども、他にございませんでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは次期の委員長も私近藤が、また、副委員長が田畑先生となります。田畑先生よろしく願いいたします。そうしますと先ほど申し上げましたように、定款の変更がございましたときには、皆様方に事務局のほうから定款が変更されたのでご了解願いますというご連絡させていただき、それについては同意をしていただき、それをもって私のほうから設立団体に回答するという形をとらせていただきたいと思います。以上で予定された4つの議事については終了でございますが、せっかくの機会で、開院までいよいよ2年ということですから、何か東千葉メディカルセンターの発足までに皆様方から何かご意見等ございましたらお願いいたします。先ほど看護師さんの件もありましたけれども委員いかがですか。

委員 先ほど市長さん、平澤先生のごあいさつの中にもありました、看護師確保について今のところ順調だというご意見でしたけれども、その中に出ていた、城西国際大学の卒業生が出るのはもっと先という話で、オープンする時の看護師をきっちり揃えるのはこれから大変なことだろうと思います。そういう意味でこれまで考えられなかったことや、あらゆることを想定して、看護師確保に望んでいただきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。委員、東千葉メディカルセンターの件は行政のほうからみてよろしいでしょうか。

委員 行政の内部でもこのことは議論しましたが、特段の異存はありません。2つのことがありまして、1つは開院に向けての長期の課題であります、看護師確保ということで、全国的に名の通った名前にしたほうがいと地方独立行政法人側のご意見を我々もよく理解しますということがひとつと、もうひとつはあまりこれまで議論になりませんでした。今後、国際化していく中で、東金九十九里地域医療センターを横文字に直すものすごく長いです。英語のアルファベットの数にして40から50あって名前にならないです。今後、10年、20年後を考えれば、そんなことも頭のすみに置いておいたほうが良いというふうには思っております。

委員長 ありがとうございます。委員何かございますか。

委員 私ども議会の中や市民の間でやっぱりいろいろ出てくる問題がございます。特に2点ほどお伺いできればと思いますけれども、今日、ちょうど、県の保健医療担当部長さんがいらっしゃいますので、

ちょっとお伺いできればと思います。第1点の問題は、いわゆる県立東金病院の関連になってくるのかと思いますけれども、医療センターでは業務については、東金病院を引き継ぐということになっていたと思います。救急基幹病院の問題あるいは災害拠点病院という問題については、引継ぎをしていくんだということだったと思いますけれども、その中で一方では、いま現在、透析、この地区でかなり透析患者も多い地区であろうかと思えます。これについては、医療センターでは透析治療はしないというようなことで今まで話は進んできたと思えます。そういう中、平成24年から建設がはじまるという段階にきて、患者さん方がかなり不安に思っているところがございます。これは、県の施設でございまして、県がその後、この患者さんたち或いは方向性をどういうふうにお考えになっていくのか、その辺がおわかりになりましたら、教えていただきたいと思えます。もう1点としますと先ほど出ておりました名称の問題でありましたが、周辺地区の救急医療に対する負担要請という問題、これは平成23年から県と東金市で茂原をはじめとした周辺各地、県試案ということの中で要請をしていくということで廻っていただいたと思えますけど、やはりこれも平成24年工事着手となり、このセンターがこれから具体化していくというところまで進んでいく中で、この3次救急の費用の支援という問題が今のところ不明であると思えます。その辺がどういう形になっていくのか。特にこれは県と東金市、九十九里町とどういう連携をとりながら、いつ頃までにどういうふうにしていくのか、その辺の試案なりお考えがありましたら、お伺いさせていただきたいと思えます。急に質問して大変失礼ですけれどもちょっとその辺がやはり議会の中でも議論になってきますし、患者さんについては不安な要素ということで思っておりますので、今後の方向を見定めた中でのご意見、県の方針がありましたらお伺いさせていただきたいと思えます。

委員長 委員よろしくお願ひします。

委員 ご質問ありがとうございます。今、ご質問いただいた2点に関しまして、千葉県健康福祉部で今考えていることをこの機会を借りましてお答えをいたします。ご質問の第1点ですが、県立東金病院は、2年後の春の医療センターの開院に向けて、その医療機能等を医療センターや地域の医療機関等へ移管し、閉院することが決まっております。県立東金病院が現在担っている医療機能の中で、新しくできる東金九十九里地域医療センターに機能上引き継がれる、従って、患者さんも県立東金病院がなくなったけれども、新しいこの病院ができるのでそちらで医療を引き続き受ければいいという機能もあれば、そうでない機能もございまして。現在の県立東金病院とこれからできる東金九十九里地域医療センターの機能はまったく同じではありません。そうした中で、現在の県立東金病院が担っているけれども、新しい東金九十九里地域医療センターが担わないという機能についてはどうするのかというのが今のご質問であったと思えます。具体例としては慢性の透析患者さんをどうするのかということがございまして。私共のほうでも新たにできる医療センターが引き継がない医療機能につきましては、県立病院として現在受け持っている患者さんに対する責任がございまして。どのような形で県立東金病院が閉じた後に患者さんがしかるべき形で地元で医療を継続して受けられるようにするべきかということに関して我々健康福祉部それから、県病院局及び関係の地元の自治体、なによりも患者さんと一緒に協議をし、最終的に患者さんの側にご迷惑をかけないような形を2年間かけて整えていきたいというふうに考えています。この点我々も大切な点だというふうに考えており、今後の与えられた2年という時間の中で問題を残さないようにしていきたいというふうに考えております。2点目は新たな東金九十九里地域医療センターが担う救急医療の機能に関しまして、特にそこを利用なさる1市1町以外の住民の方々が利用するということに関しましては、患者さん個人の医療保険による費用負

担に合わせて、それぞれの住民が住んでいる自治体からもこの東金九十九里地域医療センターに一定の支援があるべきではないかというのが、試案でございます。こうした案について周辺の市町村に提案はしておりますが、周辺の少なくとも今日の時点ではご了解なりご理解がえられていないという現状でございます。これから2年の間に引き続き、東金市、九十九里町と一緒に周辺市町村への働きかけを行っていくという努力を続けてまいりたいと考えております。これは相手があることで、いついつまででどういう形で合意を得ますとこちらのほうで一方的に決めることはできませんが、与えられた2年という時間の中で東金市、九十九里町と連携して引き続き試案につきまして、関係市町村に働きかけてまいりたいと考えております。

委員長 委員よろしいでしょうか。

理事長 医療機能に関する透析に関連した、第1番目の質問に対して我々の考えを述べさせていただきたいと思っております。まず、はじめに我々は透析をやらないと言っている訳では決してございません。維持透析をやらないと言っている訳でございます。ですから、普通、慢性腎不全の患者さんが外来透析を主体とした維持透析をやっていて、何が困るかという合併症を発症した時であると思っております。そういうものに関しては、我々のICUの中に透析施設はちゃんとございますし、我々は最初から合併症を起こした場合には、我々のところでちゃんと診療する。もうひとつは慢性の腎障害の人がだんだん腎機能が悪くなって、慢性維持透析を導入しなければいけないというその導入は我々がやる。でも慢性維持透析は我々の病院のキャパシティーからみてもその部分は役割分担で周辺の透析をやっていらっしゃる医療機関にお願いするということを考えている訳でございます。ですから、逆に言いますと、今までこの地域に透析の患者さんにおこった合併症を処理してくれる医療機関が無かったがゆえに例えば千葉の社会保険病院だとか、千葉大学医学部附属病院まで運んでいた人が逆にこの地域に合併症がおこっても治療できる状況になって、考えようによっては、この地域の透析患者さんにとってもより安心できるような状態になるのではないのかなというふうにもとれると私は思います。また、実際我々は、前にも申し上げましたが、千葉大学で私自身は救急集中治療部の部長であると同時に人工透析部の部長でもありました。つまり、我々はある意味人工透析の専門家でもございます。今度着任する人たちの中にもそういう人たちもおりますので、技術も知識もまた、病院の中の施設も、慢性維持透析患者さんにおこった合併症には十分対応できるような形になるというふうに思います。ですから、全ての患者さんを引き受けて外来透析をやるというのは314床の病院にとっては外の機能もありますので、無理であります。一番困難なまた、命に関わるような部分の合併症に関しては、十分我々の医療施設でできるというふうに思っておりますので、その点に関しては患者さんに是非お伝え頂きたいと思っております。ですから、透析についても役割分担がおこってくるのかなというふうに思います。以上です。

委員 維持透析の部分なんですけども、やはり、患者さんにしますとそこが一番気になっているところなんです。だから、これは当然医師会の皆さんとの連携の問題もでてくると思いますし、いろんな関係があると思っておりますけれども、やはりそういう不安をきちっと出していかないと、逆に言うともう平成24年からの建設が目前にきてるわけですが、その辺が見えないから不安に思っているという点がだいぶあると思っております。だからその辺を県がやるべきなのか、医療センターのほうでやるべきかわかりませんが、少し、地域に対してのその辺を広報というか、知らしめていく方法もご検討いただければというふうに感じるころです。

委員 偶然に医師会長でありながら、透析施設を持っていまして、その関係で何人かの患者を引き受け

るつもりでおります。一方で私も元々東金病院の透析の部長をしながら外科部長をしておりました。私のところに来ております先生もついこの間まで東金病院の透析部の部長をしておりました。患者さんの受入れ体制の能力は大丈夫だと思います。その中で実は去年7月に施設を拡大しまして、現在6クールで300人の透析が可能な施設となっております。現状で150人位いますが、県立東金病院の維持透析患者数は50～60人位だと思います。併せても210名ですからそういった意味で全く心配していません。数に関してはそんなに心配することはないということをご報告いたします。

東金市長 救急補助、県の部長さんからお答えいただきましたが、私どもお願いする立場としてお答えをしたいと思います。実は以前の山武地域医療センター計画の段階で、長生郡市へ首長で伺ってあちらの首長と話をしたことがありました。その段階で言われましたのは、3次救急をちゃんとやってもらえるのだろうかということでありました。その時はまだ山武医療センター計画であったんで、そこまでは詰まってなくて、その後、紆余曲折あった中で、現在の東金九十九里地域医療センター計画が出来上がって今日に至っているのですが、この間に、はっきり申し上げて、当時の段階では長生郡市のあらかたの首長さん方の考え方というのは、3次をやってもらえるのであれば、自分たちは救急補助を考えたいということでありました。ところが、現在、3次救急をやることになったんですけれども人が変わったことがあったり、いろんな状況があって、現在、すんなりと受け入れてもらえる状況になっていないのが状況だと思います。ただし、今後、この地域内もそうなんです、そういった役割分担、314床ですから全てのをここで完結させるということではできないというふうに思っておりますので、周辺の公立病院等との連携を組んでいただく中での役割分担というのが大きなテーマになってくのだと思います。現実、東金市でもつい最近1月から2月にかけて、残念ながら亡くなった方がおります。この地域の中でまず受け入れて応急処置すらもできずに、そのまま千葉の救急センターへ運ばれました。こういう実態を首長さんたちが分かってくれば、役割分担で命を守るためにこの場所でまず受け入れができるということになれば、時間的な問題が一番大きいわけですから、そういった説明を私共していきたいと思っておりますし、県のほうも是非一緒になってお願いしたいというふうに思っています。それと、もうひとつの機能面の透析の話がございましたけれども、今、委員からのお話があったように、実態とするとこのエリアの中で完結できるところまできております。ところが、色々な宣伝をされている部分があって、或いは不安を持っている部分があって、そうではないという思いをしている方々が多く、実態が伝わっていないというのが一つあると思います。それと、はっきり申し上げて、あえて反対している方々もまだおりますから、色々な言い方がされてきている。これをきちんと私共も説明していかなければいけないと思っておりますし、力を合わせてこういう形をつくっていくという意識を持つこと、これが今の段階では一番重要なことではないかと思っております。

委員長 ありがとうございます。委員いかがですか。

委員 救急医療費の負担については、東金市と九十九里町との分担の問題も出てくると思います。運営費交付金が市・町から出てくると思います。ですからこのあたりも明確にして、やはりこれは県が主導でやるのか、東金九十九里が主体性をもってやるのか、今のお話を聞いていますともう少し具体的に詰めて行った方がよろしいのかなと思われました。以上でございます。

委員長 ありがとうございます。委員いかがですか。

委員 診療報酬が今年2年に1度変わってきていますけれども、たぶん、オープンするときにはまた、新たな診療報酬の変わる次期にオープンが重なってくると思いますけれども、そういう中で医療がど

らんどん変化していると思います。ですから、私は変化に対応できるようなメディカルセンター、ある一定の固定した概念でずっといくのではなくて、その時、その場の状況に合わせた病院づくりを是非こころみてやっていただきたいなと思います。

委員 先ほど志賀市長さんからご報告がありましたけれども、城西国際大学の看護学部がいよいよ4月から出発することになりまして、入試も半分以上は終わっているところで、大変いろいろな方達が応募くださっております。私共もこの地域のために地域の看護師さんを育成する目標として参りましたが、東金九十九里地域医療センターで働きたいという応募者が大変多くて、そして奨学金15名の定員はすっかりオーバーしてしまっているという状況でございます。私たちは入試を集中的に千葉県に限定してやってまいりましたので、出来る限り千葉に定着してくれる方達を考えておりまして、これはもう遅いのかもしれませんけれど、看護を勉強して資格をとる学生たちのための施設の面で少し考えて頂いたり、それから、奨学金の枠を20名ほどに増やしていただけないのかと、そうすることによって大変人気のある、今度新しくできる東金九十九里地域医療センターに来てもらうということに非常に役立つのではないかと部長からも要望があります。また、これから、入試が終わったところで、希望する人が非常に多くなるのではないかと考えておりますので、ご検討をお願いしたいと思います。

委員長 ありがとうございます。また、法人なり市、町でご検討いただければと思います。

東金市長 先ほどの救急補助の件ですが、事業計画でも全体的には赤字にならない、ただ、救急分野だけを切り出すと赤字になるといういい方になるのですが、それに対しての地域の必要な部分とういうことでその負担をしてもらえたらいかがでしょうかというのが基本的な考え方でございました。私共はこれをお願いしていくつもりでおりますけれども、必要絶対条件ということではなくて、お互いに理解していただきながらというのが大前提となると思います。ですから、これは県の試案にのっている考え方というのが先ほど部長さんにお話しいただいたとおりでございます。併せて、たしか、印旛郡のほうでも成田日赤だったでしょうか、医療機器の整備について、医療圏の中の自治体に協力を求めたいという動きが去年の暮あたり、出たような経過もあると聞いておりまして、内容的にはちょっと違いますけれども、地域で必要な医療を支えていくという基本的な考え方を私どもも今後の中で理解していただきながら取組を進めてまいりたいと思います。これは独法のほうでもお願いしている部分ですが、私共も看護師の奨学金については、市独自としてやっていこうということで、議会の承認をいただいてやっております。来春ということは実は予算査定ももう終わっておりまして、今の段階で枠を広げるのは難しさがありますけれども、基本的には平成28年度、要するに私共、医療センターがフルオープンするときに城西国際大学から看護師さんが輩出される、社会へ出る状況になります。私共、大変期待しておりますし、その前段での看護協会長さんにお話しいただいたように今年度の確保は人数的には大丈夫だと聞いておりますけれども、次年度、平成26年度オープン時に向けて必要な確保というものを私共もできるだけの対応をしていきたいと思っておりますので、色々なお知恵もお力もいただければと思います。よろしくお願ひいたします。

委員長 ほかにございますでしょうか。無いようですので、それでは、以上で平成23年度第3回地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターの評価委員会を閉会とさせていただきます。どうもご協力ありがとうございました。

司会 ご審議ありがとうございました。事務局からでございますが、次回の評価委員会でございますが、平成23年度決算の年度評価を議題といたしまして、6月頃に開催する予定でございます。詳細日程につきましては、ご案内させていただきたいと存じます。大変お疲れ様でした。